

インドチェンナイメトロが日本信号製自動出改札システムの運用を開始

2015年7月9日
日本信号株式会社

2015年6月、インド共和国タミルナドゥ州チェンナイ市で、同州初となるチェンナイメトロが開業し、日本信号製自動出改札システム(以下、AFCシステム)7駅(133通路、券売機36台)の運用を開始いたしました。

本件は、チェンナイメトロと当社が2011年3月に締結した契約の第一期部分になります。今後は第二期、第三期の開業を経て、2016年秋頃には全32駅(426通路、券売機139台)で運用を開始予定です。
※タミル・ナドゥ州：面積 13万 km²、人口 6,211万人、州都 チェンナイ(旧マドラス)

【概要】

- ①駅における自動出改札機、自動券売機から中央サーバーまで全てのシステムを一括して納入
- ②再利用可能な非接触型ICカード及びトークンを乗車券媒体として用いる事により、保守費の低減及び、リユースによる環境負荷低減を実現
- ③中央清算システムを有し、将来的にはバス・他鉄道事業者(最大32運營業者)等との相互利用を計画



当社は本件を契機とし、今後の成長が見込まれる海外市場に向けて、AFCシステムを含むトータルソリューションを提供し、各国の交通インフラの発展に貢献してまいります。

以上

問い合わせ先

日本信号株式会社 総務部 〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1
Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp
